

CDPプロジェクト活動実績

2018年度

- 学校キャリア教育プロジェクト
- 建設・建築業界つなぐプロジェクト
- 食品開発プロジェクト

2019年度

- 鐵工会リニューアルプロジェクト
- SOGI 認知化プロジェクト
- 島根の東西をつなげる iwaming プロジェクト
- 出雲空港 空 FES プロジェクト
- 県大×島大 LOCAL GAP PROJECT = (LGP)

2021年度

- 松江シティFC 運営企画プロジェクト
- 宍道湖サンセットパークイベント 企画・調査プロジェクト
- 松江観光ランニングツアーの企画プロジェクト
- 堀川遊覧船・大学生集客プロジェクト
- しまね地域インターンシップ企画運営プロジェクト
- 島根に緑のある全国の大学生との出会い創出プロジェクト
- 大学生による高校への出前授業プロジェクト
- 女子学生企業リポーター プロジェクト season2
- リフレッシュルーム空間デザインプロジェクト
- 雲南市「き♡線おうえんプロジェクト」

2020年度

- 女子学生企業リポータープロジェクト
- 緑ターンシッププロジェクト「追手門学院大学×島根大学×雲南市」地域課題解決オンライン・インターンシップ
- 糕さんびるとやりたい企業実習プログラムを企業と一緒にやってみるプロジェクト
- 山陰ケーブルビジョンとやりたい企業実習プログラムを企業と一緒にやってみるプロジェクト
- 出雲空港ターミナルビルとやりたい企業実習プログラムを企業と一緒にやってみるプロジェクト
- 職工フェム山陰とやりたい企業実習プログラムを企業と一緒にやってみるプロジェクト
- 萩山陰中央新報社とやりたい企業実習プログラムを企業と一緒にやってみるプロジェクト
- 島根中央信用金庫とやりたい企業実習プログラムを企業と一緒にやってみるプロジェクト
- JAしまねとやりたい企業実習プログラムを企業と一緒にやってみるプロジェクト
- 一畑電車とやりたい企業実習プログラムを企業と一緒にやってみるプロジェクト
- 一畑百貨店とやりたい企業実習プログラムを企業と一緒にやってみるプロジェクト
- 出版社立ち上げプロジェクト
- 建設 PR プロジェクト
- 目指せ売り上げ UP! 15 時のハイまんじゅうマーケティングプロジェクト
- まちのワーキングスペース PR プロジェクト
- 空き家プロジェクト

- 出雲空港ご縁工ヒノード募集キャンペーンプロジェクト
- SDGs 社内発信プロジェクト
- 美しい日本海をゴミアートで守るプロジェクト
- サーモン養殖工程稚魚受入プロジェクト
- 雲南市石碑探求プロジェクト
- 小泉八雲 PR プロジェクト
- 益田市「冬休み!算数・数学パワーアップ教室」

※ 2020 年度以前の活動実績は、キャリアデザインプログラムホームページ等で確認してください。

	プロジェクト名 (プロジェクト先)	活動の目的と内容
2022 年度	シマダイ橋渡しプロジェクト (一財) 地域・教育魅力化プラットフォーム	目的: 島大生の「やりたい」を応援する。 内容: 学生の希望や不安を解決するために Moodle や SNS を活用して情報発信を行い、島大生が生活しやすい環境を作るお手伝い = 「橋渡し」を行う。
	島根大学インクルーシブデザイン化プロジェクト (NPO 法人プロジェクトゆうあい)	目的: 障がいや病気だけでなく、様々なマイノリティと共に生きるための環境づくり。 内容: 障がいの有無に関わらない社会づくりを目指している企業をアドバイザーに迎え、大学の構造的かつ心理的なバリアの調査を行って「島根大学バリアフリーマップ」を作成し、誰もが暮らしやすい大学生活のために学内の環境美化を行う。
	ルーツしまねインターンシップ企画・運営プロジェクト (一財) 地域・教育魅力化プラットフォーム	目的: 2泊3日のツアーイベントの企画設計・運営業務を学ぶ。 内容: 県外に進学した島根県出身大学生を対象にした「ヒト・モノ・コト」に触れるインターンシップツアーの企画・運営を行う。
	高校生の進路実現を支援するキャリア支援プロジェクト (一財) 地域・教育魅力化プラットフォーム	目的: 県内の高校3年生との対話を通じ、進路実現をサポートする。高校生のやりたいことを引き出す関わりを通じて、コミュニケーション能力を UP する。 内容: 高校生の経験と大学で学びたいことを 1対1 の対話を通じて引き出す。
	松江東高校生×シマダイ地域探求プロジェクト (島根県立松江東高等学校)	目的: 松江東高校生の EAST 地域探求を共に考え最終発表会まで伴走する。 内容: 地域探求活動を行う高校3年生がアイデア企画等を行う際、一緒に考え進んでいくための壁打ち役となる。これまで大学で学んだ知見を元に分析し研究方法をアウトプットすることで、自力向上に繋げる。
	島根県川本町 弓市ストア活性プロジェクト (川本町弓市ストア運営)	目的: 「かわもとまち」の商店街一帯を活性化へ導くために「弓市ストア」企画運営を行う。 内容: 弓市ストアを中心にまちの活性化と地域の方と共に実施する。
	地域や世代を越えて繋がるコミュニティ形成イベントの企画・運営プロジェクト (浅利観光株式会社 (松江ニューアーバンホテル) ワークアット株式会社)	目的: 「地域や世代を越えて繋がるコミュニティ」を形成する過程を地域内の社会人とともに実践形式で経験する。 内容: 「社会人×学生」「県外のビジネスマン×県内在住者」等の掛け合わせで、地域内でさまざまな交流を生み出すためのイベントの企画と運営を行う。特に学生をターゲットとしたコンテンツにおいて、企画案を考えるとところから参加学生の集客、イベント当日の運営までを地域内の社会人とともに活動する。(2022年度は夏と冬の2期実施)
	堀川遊覧船企画プロジェクト (堀川遊覧船)	目的: 松江市観光振興社より堀川遊覧船振興の企画を学ぶ。 内容: 若者(学生)の集客に向けてニーズを調査し、乗ってみたい遊覧船(テーマ船)の企画・実施を行う。
	「しまね JOB Girl season3」 (島根県庁)	目的: 2019年からの継続事業として、島根県内に多くの魅力的な企業があることや女性社員がいきいきと働く姿を伝える。 内容: 「しまね JOB Girl season3」事業に参加し、島根県内企業でいきいきと自分らしく働く女性社員や働き方への特徴的な取り組みを行っている企業の取材をする。島根県内に多くの魅力的な企業がある

2022 年度	「島根県益田市小中学生へ夏休み・算数数学 パワーアップ教室プロジェクト」 (益田市教育委員会)	目的: 小中学生との関わりを通して教育意欲の喚起と益田市の魅力に関心を持つ。小中学生は、大学生と関 わることで理系学習への関心を高めると共に、大学生というロールモデルへの憧れを持つ。 内容: 2021年に引き続き、松江市から約130km離れた益田市の小中学生の学習支援を行う。(2022年度 は夏・冬・春の3期実施)
	ベストブック共有プロジェクト (松江商工会議所※きらぼし)	目的: 他者の紹介・勧めにより自分が求めていた本に出会い、読書に興味・喜びを抱くこと。 内容: 誰かに本を選んでもらえる嬉しさや本を読むことの面白さを多くの人に伝える企画を実施する。
	食品ロス×カフェ(イベント)プロジェクト (松江商工会議所※きらぼし)	目的: 松江市の食品ロス削減に貢献する。地域の人々に楽しみながら食品ロス削減に協力してもらう。 内容: 食品の取り寄せや販売方法の発案等、イベント企画から食品の販売までを行う。
	ネット世界にお店の魅力発信PJ ～SNSコーディネーター～ (松江商工会議所※きらぼし)	目的: 山陰地域の市民や観光客に休日をより楽しんでもらう。 内容: 山陰地域の市民や観光客のSNSユーザーの為に、飲食店のインターネット情報の整備を行ってSNS をコーディネートする。
	市バス活性化プロジェクト (松江市交通局)	目的: 松江市のバス利用者を増やし活性化を図ることで、地域住民の外出機会増加とまちの賑わいの創出に 繋げる。 内容: バスは地域の公共交通であり運転できない学生や高齢者、障がい者、妊婦のような方々の移動手段と して欠かせないことを再認識し、市営バス活性化のためのバスマップ作成の企画と実施を行う。新入 生全員に乗車券と手作りの「バスで巡るおすすめスポット」マップを配布する。(2022年度は夏と冬 の2期実施)
	子供向けイベントの企画運営プロジェクト (集まれ! 働く車 2022 実行委員会(山陰中 央テレビジョン放送株式会社 他))	目的: バトカーや消防車への試乗を通して子供たちが働くことをイメージする「集まれ! 働く車」というイ ベントに参加し、自身も松江市の将来・地元就職について考えるきっかけとする。 内容: 「集まれ! 働く車」の企画運営に携わり、イベント当日の実施を担う。
	美しい日本海ゴミアートプロジェクト (松江市地域おこし協力隊しまねLINK)	目的: 島根県立美術館にてしまねLINKが主催する海洋プラスチックを使ったアートプロジェクトに参加し、 島根半島の海洋プラスチックの状況～アートプロジェクトの運営を体験し学ぶ。 内容: 海岸清掃(プラスチック収集)やゴミを洗う作業を実施し、試験制作、プロモーション、会場用DIY 等を進める。島根県立美術館で当日のアート制作及びスタッフとして参加する。
弓ヶ浜水産・養殖・稚魚移送・沖出しプロジェ クト (株式会社弓ヶ浜水産)	目的: 水産業界のトップ企業である弓ヶ浜水産における水産の取組や重要性を学ぶ。 内容: 淡水養殖場(山)から境港海面生簀(海)へ「ギンザケの稚魚」を移送・沖出しをする業務を行う。	

	プロジェクト名(プロジェクト先)	活動の目的と内容
2023 年度	松江東高校 EAST 探究プロジェクト (松江東高等学校)	目的: 松江東高校の第3年次選択授業「EAST 地域探究」では、高校生自らが地域に関わる探究テーマを設定し、周囲 の協力を仰ぎながら、課題解決など実践している。このプロジェクトでは、大学生が高校生のテーマ決定・行動 計画作成・アクションなどを含んだ探究学習を進める伴走やサポートを行うことで、ティーチングやコーチン グのスキルを身につけることや、探究学習のプログラム運営のあり方を学ぶ。 内容: 松江東高校の授業「EAST 地域探究」へ希望する大学生が参加する。①高校生へ、探究学習のサポート・アドバ イスをする。②高校の授業担当教諭へ、授業の進め方や生徒の様子などについてフィードバックをする。③実施 する授業のうち教員程度、担当者や大学生が相談をして、可能な範囲で参加する。
	地域の子どもの居場所「学び舎」運営プロジェクト (横浜町町内会ヨコハマCoffee/よこばまギャラリー)	目的: 地域の子どもの学びの場として一緒に活動してくれる大学生を募集し、学校や家とは別に子どもたちの安心す るような居場所をつくる。 内容: 毎週水曜日の17時から19時の間、松江市横浜町のよこばまCafe/よこばまギャラリーにて、小学生が宿題を したり関心のあることについて調べたりすることをサポートする。
	もっとつながるき線プロジェクト (木次線利用活用推進協議会)	目的: JR 木次線の活用及び沿線の知名度向上のための情報発信及びアイデア出しを行い、実践する。利用者低減が 続く地域公共交通について自分なりの考えを醸成する。挑戦する心構えを身につける。 内容: 現地で情報収集を行い、それをもとにJR木次線及びその沿線の知名度向上のために木次線利用活用推進協議 会の公式 Instagram を中心とした情報発信を行う。また、学生が出したアイデアを学生ツアーなどといった形 で実践する。
	「2023 しまね未来共創チャレンジ」運営支援プロ ジェクト (一財) 地域・教育魅力化プラットフォーム)	目的: 島根県内の高校生を対象とした、島根の未来を創るリーダー人材を育成することを目指す取り組みである「しま ね未来共創チャレンジ」での高校生への伴走支援を通じ、プロジェクトの実現のサポートを行うこと。CDPの参 加者が伴走者としての学び・成長機会を得ること。 内容: 地域課題の解決や自身の興味関心をプロジェクトとして実現に向けて取り組む高校生の伴走支援をメインメンター (島根県内の経営者や事業マネージャー等)と共に進める。
	高校3年生向けオンライン「進路探究ゼミ」支援 プロジェクト (一財) 地域・教育魅力化プラットフォーム)	目的: 島根大学や島根県立大学等を志望している島根県内の高校3年生に対して、総合型選抜・学校推薦型選抜入試を 見据え、アドミッション・ポリシーの読み解き方を学んだり、実際に進学した先輩からの合格体験を聞いたりす ることにより、自分の志望理由を明確にし、選抜に向けての進路意識をより高めていく機会を提供する。CDPの 参加者が伴走者としての学び・成長機会を得る。 内容: 総合型選抜・学校推薦型選抜入試を通して、島根大学や島根県立大学等を志望している島根県内の高校3年生に 対して志望理由書のブラッシュアップや面接対策を実施する。
	「IT Boot Camp @ 島根」プロジェクト (島根県商工労働部産業振興課&株式会社アイエス)	目的: e-Learning や高校生向けの指導体験で学んだITスキルを活かし、県内企業とのチームによる実践的ワークショッ プでITを活用した企画の提案やサービスの開発を行い、県内企業のデジタルトランスフォーメーションに繋げる。 内容: 県内企業の課題解決のために、学生と各企業が共同でITをテーマにした課題解決を実践する。
	益田市算数・数学パワーアップ教室プロジェクト (益田市教育委員会)	目的: 学生は小中学生との関わりを通して教育意欲の喚起、益田市の魅力に関心をもつ。小中学生は、大学生と関わる ことで学習(理系)への関心を高めると共に、大学生というロールモデルへの憧れをもつ。 内容: 2021・2022年に引き続き、松江市から約130km離れた益田市の小中学生へ学習支援をする。(2023年度は夏・ 冬・春の3期実施)
	「児童クラブで小学生と遊びを通してともに消費者 教育を学ぼう!」プロジェクト (松江市役所消費・生活相談室)	目的: 大学生が小学生に、消費者教育について一緒に楽しみながら教え、学ぶ。それにより今後、自身が消費者として 社会に出て、生活を送るための知識や感覚を身につける。 内容: 大学生が小学生に対して「普段の生活の中で、わたしたちができること」について興味や関心を持ってもらうために、 大学生と小学生がともに学ぶ機会や場を設ける。

	プロジェクト名 (プロジェクト先)	活動の目的と内容
2024 年度	オンライン「進路探求ゼミ」支援プロジェクト (一財) 地域・教育魅力化プラットフォーム	目的: 島根大学や島根県立大学等を志望している島根県内の高校3年生に対して、総合型選抜・学校推薦型選抜入試を見据え、アドミッション・ポリシーの読み解き方を学んだり、実際に進学した先輩からの合格体験を聞いたりすることにより、自分の志望理由を明確にし、選抜に向けての進路意識をより高めていく機会を提供する。CDPの参加者が伴走者としての学び・成長機会を得るとともに、高校生の進路に向き合うことで自身の進路にも向き合い機会とする。 内容: 総合型選抜・学校推薦型選抜入試を通して、島根大学や島根県立大学等を志望している島根県内の高校3年生に対して志望理由書のブラッシュアップや面接対策を実施する。
	地域の子どもの居場所「学び舎」運営プロジェクト (横浜町町内会 (ヨコハマ Coffee/ よこばまギャラリー))	目的: 地域の子どもの学びの場所と一緒に活動してくれる大学生を募集し、学校や家とは別に子どもたちの安心するような居場所をつくる。 内容: 毎週水曜日の17時から19時の間、松江市横浜町のよこばまCafé/ よこばまギャラリーにて、小学生が宿題をしたり関心のあることについて調べたりすることをサポートする。
	児童クラブや子ども向けイベント等で小学生と遊びを通してともに消費者教育を学ぼう! (松江市役所消費・生活相談室 (児童クラブ))	目的: 大学生が小学生に、消費者教育について一緒に楽しみながら教え、学ぶ。それにより今後、自身が消費者として社会に出て、生活を送るための知識や感覚を身につける。 内容: 大学生が小学生に対して「普段の生活の中で、わたしたちができること」について興味や関心を持ってもらうために、大学生と小学生がともに学ぶ機会や場を設ける。大人も一緒に学ぶ機会を設け、親子で消費者教育について学んでもらう。
	オープンキャンパスプロジェクト (島根大学松江キャンパス)	目的: オープンキャンパスの参加者に島根大学や学生について知ってもらうことで島根大学の魅力を伝える。 内容: 島根大学や学生について知ってもらいたいので、オープンキャンパスに訪れた高校生を対象にキャンパスツアー、学生相談、誘導をする。
	益田市の小中学生に理数科目の魅力伝えるプロジェクト (益田市教育委員会)	目的: 学生は小中学生との関わりを通して教育意欲の喚起、益田市の魅力に関心をもつ。小中学生は、大学生と関わることで学習(理系)への関心を高めると共に、大学生というロールモデルへの憧れをもつ。 内容: 2021年から引き続き、松江市から約130キロ離れた益田市の小中学生へ学習支援をする。(2024年度は夏・冬・春の3期実施。)
	春メニュー開発プロジェクト (有) 玉木製麺	目的: メニュー開発を通して商品化し販売するまでのプロセスを学び、売れる商品づくりに必要な「ターゲット」「嗜好性・ニーズ把握」「コンセプト」「差別化」「価格」「アピール手法(ネーミング等)」などの考え方・スキルを習得する。 内容: 新メニューを開発するにあたり、現状の客層分析・お客様へのアンケート取りを行う。その後、メニュー考案、試作・試食を繰り返し料金設定も行い、実際に店頭に出すまでの過程を経験する。

	プロジェクト名 (プロジェクト先)	活動の目的と内容
2025 年度	春メニュー開発プロジェクト (有) 玉木製麺	目的: メニュー開発を通して商品化し販売するまでのプロセスを学び、売れる商品づくりに必要な「ターゲット」「嗜好性・ニーズ把握」「コンセプト」「差別化」「価格」「アピール手法(ネーミング等)」などの考え方・スキルを習得する。 内容: 新メニューを開発するにあたり、現状の客層分析・お客様へのアンケート取りを行う。その後、メニュー考案、試作・試食を繰り返し料金設定も行い、実際に店頭に出すまでの過程を経験する。
	児童クラブや子ども向けイベント等で小学生と遊びを通してともに消費者教育を学ぼう! (松江市役所消費・生活相談室 (児童クラブ))	目的: 大学生が小学生に、消費者教育について一緒に楽しみながら教え、学ぶ。それにより今後、自身が消費者として社会に出て、生活を送るための知識や感覚を身につける。 内容: 小学生に「適切な消費行動」、「お金の使い方」、「SDGs」、「食品ロス」などについて興味や関心を持ってもらうために、すごろくやカルタ、紙芝居などを使用しながら、大学生と小学生がともに学ぶ機会や場を設ける。大人も一緒に学ぶ機会を設け、親子で消費者教育について学んでもらう。
	地域の子どもの居場所「学び舎」運営プロジェクト (横浜町町内会 (ヨコハマ Coffee/ よこばまギャラリー))	目的: 地域の子どもの学びの場所と一緒に活動してくれる大学生を募集し、学校や家とは別に子どもたちの安心するような居場所をつくる。 内容: 平日の17時から19時の間、ヨコハマCoffee/ よこばまギャラリーにて、小学生が宿題をしたり関心のあることについて調べたりすることをサポートする。
	益田市の小中学生に理数科目の魅力伝えるプロジェクト~2025年夏・冬・春~ (益田市教育委員会)	目的: 学生は小中学生との関わりを通して教育意欲の喚起、益田市の魅力に関心をもつ。小中学生は、大学生と関わることで学習(理系)への関心を高めると共に、大学生というロールモデルへの憧れをもつ。 内容: 2021年から引き続き、松江市から約130キロ離れた益田市の小中学生へ学習支援をする。(2025年度は夏・冬・春の3期実施。)